

## 団体の紹介

『アレルギー支援ネットワーク』は、自らアレルギーなどの疾患を持ちながらも「アレルギー患者や会への支援」で相互に助け合います。医療関係機関や自治体・企業などとアレルギー問題の解決のために協働・連携する事業活動を行い、患者と専門家や行政や企業の「橋渡し役」でありたいと活動しています。

具体的には、アレルギー・アトピー・化学物質患者の相談・支援 各地域における「アレルギーの会」の設立・運営をサポートする活動 主として「会」のリーダーや栄養士など専門職種を対象にした『アレルギー大学』の開催など科学的知識の普及や講師派遣、 さまざまな問題解決のため行政や企業と協働・連帯支援の活動をしています。

## この団体が生まれた理由



1988年 ダニ対策活動に関わる市民懇談会として発足。  
「アレルギー懇談会」などを経て、  
2003年7月「NPOアレルギーネットワーク」法人取得  
2006年9月患者支援や社会的支援の分野の活動を広げるため  
「NPO法人アレルギー支援ネットワーク」設立  
2009年9月 認定NPO法人

## 今までの活動内容と今後の課題

これまで『アレルギー支援ネットワーク』では、アレルギーに関する知識の普及（メルマガ、Web情報の配信など）を行ってきました。アレルギー患者・会との協同や支援を行い、アレルギーに役立つ商品の企画開発・普及、研究を企業と共同した活動も行っています。


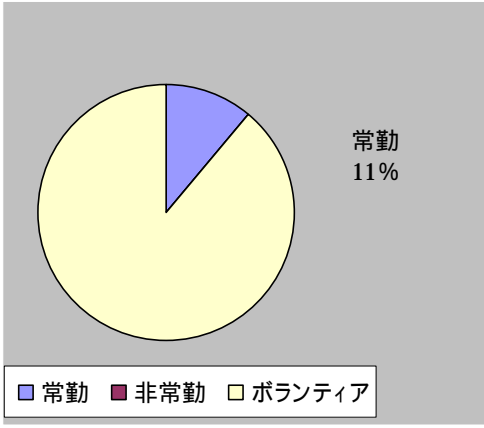
活動の成果として、「アレルギー大学」では、学校や保育園、地域のアレルギーに関わる専門職の方が多く参加し、アレルギー対応給食の実施やアレルギーに関する関心を持っていただきました。災害救助支援では食物アレルギーやぜん息・アトピー患者などの相談や救援物資を届けるなどの支援活動を行いました。また自治体などと防災・救援（相互支援）協定を進めています。

最近では地域で活動するアレルギー会（患者会）への支援やアレルギーへの理解を広げる「アレルギーフェア」の開催準備をしています。また学校や保育園での「アレルギー疾患対応ガイドライン」（日本学校保健会）の普及、その定着を支援している他、各地で開かれるアレルギー講演会への講師派遣要請に応える活動をしています。又、主要な事業の1つでもある「アレルギー大学」を「各地で開催してほしい」という要請に応えるため、さまざまな地域での開催をはじめ、広域的に開催できるよう準備をすすめています。又、アレルギー大学の全国共通教材となる「教科書」の発刊を2011年3月に予定をしています。

一方、NPO法人はボランティアの活動だから「ただで働いて当然」と思われている傾向やアレルギーを売り文句にした「アトピービジネス」も少なくなく、アレルギーに対する誤解や偏見も根強く残っています。これらの課題やアレルギーに対する理解を広げたいと願っていても、それらを一つひとつ解決するには多くの労力が必要ですが、それを支える財政的・人的基盤が弱いといった課題もあります。

## 県へのメッセージ

社会的課題を解決する活動をしている立場としてNPOへの助成金や寄附が広がり、人材育成がすすむようよう国や県などの協力を今後も強めていただきたいです。

組織形態	特定非営利活動法人	
事業者名	NPO 法人 アレルギー支援ネットワーク	
所在地	〒453-0021 愛知県名古屋市中村区松原町 1-24 COMBi 本陣 S 棟 103	
電話	052-485-5208	
FAX	03-6893-5801	
HP アドレス	<a href="http://alle-net.com/">http://alle-net.com/</a>	
メールアドレス	<a href="mailto:info@alle-net.com">info@alle-net.com</a>	
代表者	理事長 須藤 千春	
参加者	<p>会員（無料会員含む）計 570 名、理事 15 名、職員 6 名、運営協力ボランティア 35 人</p>  <p>■ 常勤 ■ 非常勤 □ ボランティア</p>	

(最終校正日時 2010/12/07)